

コースの教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

●応用生命科学コース

1. 教育課程の編成と教育方法

学位授与の方針を実現するために、最終的に修士論文作成に係る研究指導體制に集約できるように編成した教育課程と教育方法とする。

- (1) 学識と研究能力及び高度専門職業能力 応用生命科学分野の周辺領域も含めた深い知識と技能を基にした論理的な分析能力と課題探求・問題解決能力，さらに社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を涵養する体系的な講義科目，演習科目の編成とし，常に自身の研究の立ち位置が確認でき，それを深化させられるような教育を施す。
- (2) 豊かな人格と教養及び自発的意欲 豊かな人格と高い倫理観・責任感を身につけ，自発的に様々な人とコミュニケーションを図ることにより科学的な議論を行い，自立して行動できる能力を涵養できる講義科目や実習科目を開設するとともに，生物資源の利活用に関する現状と課題を深く理解し，自身の特定の研究分野だけに捕われない教育を施す。
- (3) 国際的発信力及び社会貢献 生物資源の高度利用における課題を幅広い視点から分析でき，その解決に向けて世界水準を目指す研究成果を発信及び収集する能力を備え，地域を発展させる新しい産業創成に貢献できる能力を涵養する教育を施す。

2. 学修成果の評価

学修成果の評価は，客観性及び厳格性を確保するため，学生に対して到達目標と成績評価基準をあらかじめ明示したうえで行う。また，修士論文に係る研究成果の審査と最終試験も同様に行う。

●食料生物科学コース

1. 教育課程の編成と教育方法

学位授与の方針を実現するために、最終的に修士論文作成に係る研究指導體制に集約できるように編成した教育課程と教育方法とする。

- (1) 学識と研究能力及び高度専門職業能力 食料生物科学分野の周辺領域も含めた深い知識と技能を基に，食品の安全性，機能性，嗜好性等について，論理的な分析能力と課題探求・問題解決能力，さらに社会の変化に柔軟に対応できる自律的な応用力と創造力を涵養する体系的な講義科目，演習科目の編成とし，常に自身の研究の立ち位置が確認でき，それを深化させられるような教育を施す。
- (2) 豊かな人格と教養及び自発的意欲 豊かな人格と高い倫理観・責任感を身につけ，自発的に様々な人とコミュニケーションを図ることにより科学的な議論を行い，自立して行動できる能力を涵養できる講義科目や実習科目を開設するとともに，食料に関する現状と課題を深く理解し，自身の特定の研究分野だけに捕われない教育を施す。
- (3) 国際的発信力及び社会貢献 食品の安全性，機能性，嗜好性等における課題を幅広い視点から分析でき，その解決に向けて世界水準を目指す研究成果を発信及び収集する能力を備える

とともに、地域を発展させる新しい産業創成に貢献できる能力を涵養する教育を施す。

2. 学修成果の評価

学修成果の評価は、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対して到達目標と成績評価基準をあらかじめ明示したうえで行う。また、修士論文に係る研究成果の審査と最終試験も同様に行う。

●生物生産科学コース

1. 教育課程の編成と教育方法

学位授与の方針を実現するために、最終的に修士論文作成に係る研究指導體制に集約できるように編成した教育課程と教育方法とする。

- (1) 学識と研究能力及び高度専門職業能力生物生産科学分野の周辺領域も含めた深い知識と技能を基に、持続可能な1次産業の構築や6次産業化について、論理的分析能力と課題探求・問題解決能力、さらに社会の変化に柔軟に対応することのできる自律的な応用力と創造力を涵養する体系的な授業科目、演習科目を編成し、常に自身の研究の立ち位置が確認でき、それを深化させられるような教育を施す。
- (2) 豊かな人格と教養及び自発的意欲豊かな人格と高い倫理観・責任感を身につけ、自発的に様々な人とコミュニケーションを図ることにより科学的な議論を行い、自立して行動できる能力を涵養できる講義科目や実習科目を開設するとともに、生物生産に関する現状と課題を深く理解し、自身の特定の研究分野だけに捕われない教育を施す。
- (3) 国際的発信力及び社会貢献1次産業や6次産業化における課題を幅広い視点から分析でき、その解決に向けて世界水準を目指す研究成果を発信及び収集する能力を備えるとともに、地域を発展させる新しい産業創成に貢献できる能力を涵養する教育を施す。

2. 学修成果の評価

学修成果の評価は、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対して到達目標と成績評価基準をあらかじめ明示したうえで行う。また、修士論文に係る研究成果の審査と最終試験も同様に行う。